

第7回 縄文楽検定（初級編） 解答集

問題	解答	問題	解答	問題	解答
1	b	21	b	41	d
2	c	22	a	42	d
3	b	23	b	43	a
4	c	24	c	44	b
5	d	25	d	45	a
6	c	26	a	46	d
7	b	27	c	47	a
8	c	28	b	48	d
9	b	29	a	49	b
10	c	30	a	50	d
11	c	31	b		
12	d	32	c		
13	c	33	a		
14	b	34	a		
15	b	35	c		
16	a	36	a		
17	b	37	a		
18	b	38	b		
19	c	39	d		
20	b	40	b		

(解説)

出題に用いたテキストとその略号は、以下のとおりです。

①<縄文楽検定テキスト>「縄文文化と火焰土器」(2008) = 「I」

②新潟県立歴史博物館編「火焰土器の国新潟」(新潟日報事業社 2009) = 「火焰」

③<縄文楽検定テキストⅡ>「信濃川火焰街道 縄文の旅」(2011) = 「Ⅱ」

なお、問題文中、「火炎土器」「火焰土器」「火焰型土器」「火炎土器様式」などの用語が出てきますが、すべて使い分けをしています。

くわしくは、テキストⅠの9ページなどをごらんください。

それでは、主な問題とその解答について簡単に解説します。

問1 I-20 p、火焰-151 pにあります。また火焰-32 pに書いてありますが、最古の火炎土器は器高が低く口径と器高の比率が1対1あるいはそれ以上の鉢形の深鉢が目立ちます。

問11 I-3・11 pにあります。遺跡によって差がありますが、全体的に少ないです。そのため、日常的に使用されたものではなく、特別な人生儀礼や冠婚葬祭などの際に用いられたという説があります。

問12 I-7 pにあります。やや抽象化されていますが、鶏頭冠突起と鋸歯状突起がはっきりと描かれています。I-5 pに掲載されている火焰土器の写真と見比べてみてください。

問14 火焰-6 6pにあります。胎土や色調は信濃川流域で作られた土器とよく似ています。

問15 放射性炭素（ ^{14}C ）年代測定のAMS法による分析に基づいた年代値です。

問27 石鏃が取り付けられた弓矢は、縄文土器とともに縄文時代の2大発明品と言われています。縄文時代の前の旧石器時代には、槍などで狩猟していてまだ弓矢はありませんでした。

問30 シカとイノシシは縄文時代の遺跡から出土している獣骨の90%以上を占めます。しかし動物形土製品の題材にはイノシシが多くシカはみられません（問25の答）。イノシシは生命力が強く一度に多くの子を産むため、生命力や多産の象徴として崇められていたと考えられます。ちなみにシカは弥生時代の銅鐸の絵の題材などになり弥生人には好まれます。

問44～48は、実際に現地を訪れた方には答えやすい問題でした。問44はⅡ-4pにあります。問45はⅡ-10pにあります。問46の藤橋遺跡は、藤橋歴史の広場という史跡公園になっています。問47はⅡ-20pにあります。問48はⅡ-26pにあります。

問49 正答率が低い問題の一つでした。「火焰型土器を2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火台に」のアピール宣言の中の趣意書に、信濃川火焰街道連携協議会の顧問の小林達雄氏が書かれていますが、「突起」は、世界広しといえど縄文土器だけの特徴で、縄文人の世界観に関係するものであったと考えられ、日本文化の源流であるとされています。